

●申込・問合せ
 地域活力政策室 ☎72-3669 ☎75-2275
 ✉chiiki-k@city.ishikari.hokkaido.jp

コミュニティ ビジネス



のすすめ

地域の中で「この問題を解決したい！」という思いがあれば、その意欲とアイデアで生み出されるのがCBです。そのためCBは誰でも担い手になり得ます。

また、地域のためにせっかくなかめた事業も継続しなければ意味がありません。担い手が労働の対価を得ることは、その継続性を確保することにほかならず、「ビジネス」という観点が求められる理由もここにあります。

まちの実情に応じて生活支援がよいのか、福祉サービスがよいのか、あるいはそれら複数の事業の組み合わせがよいのか。地域をどう「変えるか」「活性化させるか」を考えながら、石狩らしいCBを創り出してみませんか！

市民が主体となって、地域が抱える課題をビジネスの手法で解決する「コミュニティビジネス」(以下CB)は、少子高齢化が進む中、退職者や女性、また、商店街が地域とのつながりを深める方法として注目を集めています。

地域に貢献する CBを応援します！ CBの事業 プランを大募集！

補助額(最大)
50万円

市では、地域社会での課題やニーズに対応したCBの新たな事業プランを募集。応募の中から地域の活性化や雇用の創出が期待でき、優れたプランをモデル事業として選定し、補助金の交付など事業の立ち上げを支援します。

支援対象 石狩市内を活動拠点に起業や新規事業を考える団体に

※事業主体の法人格は不問

支援内容 50万円を上限に事業立ち上げ経費の2分の1を補助

応募方法 所定の申請書に必要事項を記入し関係書類を添えて持参または郵送 ※申請書は地域活力政策室、市民図書館で配布

応募期間 6月7日(水)～16日(金)

選考方法 1次選考は書類審査、2次選考は7月中旬に面接実施

応募に関する説明会があります！

日時 5月10日(水)18時30分～19時30分
場所 市役所4階401会議室

必要な知識が 習得できる3日間 CB講座を 開講します！

身の回りにおける問題を解決するために「仕事を起こす」ということを身近に感じ、そのための必要な知識をお伝えする講座を開講します。これを機会に、あなたのアイデアや現在の活動をビジネスにしてみませんか。

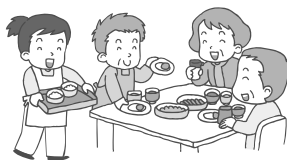
参加費 千円
場所 市民図書館

【プログラム】

5月13日(土)	10:00～12:00	コミュニティビジネスの基本を学ぼう
	13:00～16:00	ビジネスを始めるための基礎知識を習得しよう
5月20日(土)	10:00～12:00	事業計画・資金計画の作り方を学ぼう
	13:00～16:00	自分のアイデアを整理し、具体的な事業計画をつくろう
5月27日(土)	13:00～16:00	必ず成功する事業計画に発展させよう

子どもから高齢者まで交流のできる場を目指して

札幌市西岡の地域の共同購入を通じて知り合った主婦15人は、1人3万円の開設資金を出して「コミュニティ・レストラン」を開店。「地域の人たちが気軽に立ち寄ってお茶を飲んだり会話を楽しんだり、情報交換できる場があったらいいね」という思いからでした。有機野菜や手作りのおかずこだわった料理を提供する軽食喫茶の営業を中心に、有機栽培のジャガイモやタマネギ、和服のリフォーム品や小物などを販売したり、料理や手芸を教えたりなどメンバーの特技を生かしたイベントも行っています。



圓いこいの店「野の花」 ☎011-855-5114

介護や家事支援など住民同士で助け合い活動を展開

千葉県の四街道市は首都圏のベッドタウンとして発展したまち。そのため、日中は働き盛りの世代がほとんど市外に出てしまい、高齢者などが地域に取り残される心配があったため「住民同士が助け合える組織を作ろう」と、主婦11人が助け合い活動を始めました。利用する人と助ける人が会員となり、有償で活動を展開。有償で行うことで両者が対等な立場になると考えてのこと。家事援助、介護・介助、外出支援のサービスのほか、住民と行政を交えた公開討論会や、ヘルパーの派遣等を行う介護保険事業にも取り組みます。



圓NPO法人 たすけあいの会 ふきのとう ☎043-424-0233

全国各地の
CB
事例紹介

明治時代のチラシ広告——引札

ひきふだ

①「富士、鷹、なすび」



昨年、いしかり砂丘の風資料館に寄贈された資料の中に3枚の引札があります。この引札は、蔵の中の木箱に張られていて長い間蔵で眠っていたため、一部は虫に食べられ破れていました。

引札というのは、明治・大正期全国的に流行した商店などのチラシ広告です。以前は木版刷りでしたが、ヨーロッパから多色石版技術(クロモグラフィー)が入り、色彩鮮やかな印刷が一度にたくさんになりました。デザイン的に優れ美しいものが多いのですが、なかなか残っているものが少

なく今では貴重品です。

寄贈された引札は、お正月に配った「正月引札」でおめでたい図柄が描かれています。

印刷は明治38(1905)年、東大阪市(古島竹次郎商店)で行われています。引札は、親船町で客馬車、荷馬車、宿泊所を営んだマルトモ三上新達、カネカ紺野捨吉が出しています。

図柄は三上新達の方が①「富士、鷹、なすび」と②「軍人と赤十字看護婦」。紺野捨吉の方は、③「桜の木につながれた駿馬」です。一富士、二鷹、三なすびは、いうまでもなく初夢の縁起物ですが、軍人と看護婦の方は、明治38年が日露戦争終結の年ですから戦勝記念の図柄ではないかと思われまます。もう1枚の紺野捨吉の引札には、「満潮に名譽の蹄跡をとどめおき我此嶋に迎ふ初春」という和歌が添えられています。当時、家々では正月になると引札の枚数を競ったようです。

(石橋孝夫)



和歌「満潮に名譽の蹄跡をとどめおき我此嶋に迎ふ初春」



②「軍人と赤十字看護婦」



③「桜の木につながれた駿馬」

注) 掲載した引札の名称は筆者による仮名称。また①③の引札は、破損部分を画像上修復したものです。

■文化財課・いしかり砂丘の風資料館 ☎62-3711
✉i-museum@bz01.plala.or.jp
■石狩浜海浜植物保護センター ☎72-3240
✉ihama@city.ishikari.hokkaido.jp